

プラント状況確認結果(平成26年11月4日～11月11日)

平成26年 11月 11日
福島県原子力安全対策課

○ 平成26年11月4日～11月11日12時までの期間に、東京電力から福島第一原子力発電所1～4号機のプラント状況に関する報告内容について、県が確認した結果は次のとおりです。

⇒ 平成26年11月7日22時59分頃、福島第一原子力発電所4号機において、使用済燃料プールの冷却が停止しました。使用済燃料プール内に使用済燃料はなく、温度上昇はないことから、安全上の問題はありません。その後、平成26年11月8日6時00分頃、冷却を再開しました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

1号機において、使用済燃料取り出しに向けたガレキ撤去作業を進めるため、平成26年10月22日7時08分から原子炉建屋カバーの解体に向けた作業を開始しました。詳細は[こちら](#)をご覧ください。

(1) プラント状況 (11月11日午前5時)

場所	目的	監視項目	1号機	2号機	3号機	4号機 ^{※2}
原子炉 ^{※1} (核燃料)	冷却	注水量 (m ³ /h)	4.2	4.5	4.4	—
		圧力容器 下部温度(°C)	24.7	31.3	29.8	—
	未臨界確認	キセノン135濃度 ^{※3} (Bq/cm ³) (A系)	7.43×10 ⁻⁴	検出限界未満	検出限界未満	—
圧力容器	水素爆発防止	窒素充填	充填中	充填中	充填中	—
格納容器		水素濃度 (A系) (体積%)	0.02	0.07	0.09	—
使用済燃料 プール	冷却	水温(°C)	20.0	18.4	16.3	15.9

※1 直近データのみ記載。詳細は[東京電力のページ](#)を御覧下さい。

※2 4号機は原子炉に燃料が入っていないため空欄。

※3 保安規定に定める制限値は、1 Bq/cm³以下である。

(2) 発電所敷地境界におけるモニタリングポストの測定結果 (11月11日午前10時)

最小 1.322 (MP-6) ～ 最大 4.025 (MP-3) マイクロシーベルト/時 ⇒ [計測地点の地図](#)

(3) 発電所専用港内の海水中セシウム137濃度の測定結果 (11月10日採取分)

最小 検出限界未満(物揚場前、6号機取水口前) ～ 最大 49(4号機スクリーン) Bq/ℓ

(4) 発電所専用港外(沿岸)の海水中セシウム137濃度の測定結果 (11月10日採取分)

5,6号機放水口北側に30m : 検出限界未満 ※検出限界値は0.72 Bq/ℓ

1～4号機放水口から南側に1.3km : 検出限界未満 ※検出限界値は0.68 Bq/ℓ

(5) 発電所敷地内の大気中セシウム137濃度の測定結果 (11月10日採取分)

西門 : 検出限界未満 ※検出限界値は約1×10⁻⁷ Bq/cm³

(6) 1～6号機タービン建屋付近のサブドレン水中セシウム137濃度の測定結果 (11月10日採取分)

最小 検出限界未満(3号機) ～ 最大 0.16(2号機) Bq/cm³

(問い合わせ 024-521-1917)